

# 2023(令和5)年度 事業報告書

第58期 〔 自 2023(令和5)年4月1日  
至 2024(令和6)年3月31日 〕



# 第58期 事業報告書

## 概況

2023年度の世界経済は欧米を中心とした物価高と金融引き締めが、コロナ危機後の景気回復の動きを鈍化させ、さらにはロシアによるウクライナへの軍事侵攻が長引く中で、中東情勢の緊迫化等も加わり、緩やかな減速傾向が継続した。また、中国経済も消費拡大策や金融緩和などの政策効果に支えられ、景気の急激な失速は回避されたものの、内需の回復力は脆弱であり、景気減速は継続している。こうした不安定な経済状況の中、各国の政府・金融当局は難しい舵取りを迫られた一年となった。ただ、米国やユーロ圏において原材料費などコストの上昇圧力が一巡し、実質賃金が増加に転じる国・地域も出てきており、それぞれの地域で個人消費好転の兆しもみられた。

国内経済は景気の下振れ要因が多く、物価高による節約傾向が依然強いことや、物価上昇に追いつかない実質賃金により、個人消費の回復が鈍化し続けている。加えて、円安の更なる進展、インフレ状況の継続化等、経済成長に対するマイナス材料が改善されず、景気回復のテンポは依然緩やかなものにとどまった。

ただ、明るい面を挙げるとすれば、想定以上にコスト増の価格転嫁が進み、デフレ脱却の素地が整ったこともあり、株価の堅調な動きや抑制していた投資を前向きなものとし、その増加が景気を押し上げ、また、タイトな労働需給を背景とした名目賃金の上昇が達成できれば、景気回復の足取りがしっかりしたものになるものと期待される。

このような中、2023年度の国内の登録車及び軽自動車の新車の総販売台数は、前年度比3.3%増の4,528,668台となり、2年連続のプラスとなった。このうち、登録車は2,903,187台、同7.8%増で2年連続のプラス、軽自動車は1,625,481台、同4.0%減で2年ぶりのマイナスとなっている。

一方、2023年度の中古車登録台数は、登録車が前年度比3.7%増の3,604,871台で3年ぶりのプラス、軽自動車が同1.0%増の2,846,359台で4年ぶりのプラスとなった。合計では、同2.5%増の6,451,230台となっている。

このような状況の下、当協会としては、自動車販売業界における中古車部門の重要性が高まる中、消費者に信頼される中古車査定制度の普及・浸透を主目的に諸事業を展開した。

販売店で利用されている中古自動車査定基準については、環境の変化に対応し適宜見直しを行っており、その結果について周知徹底に努めているところである。

査定制度の充実、普及のためには、販売店における中古自動車査定士の資格取得者の

増加を図ることが重要であることから、毎年2回の中古自動車査定士技能検定試験を実施している。今年度についても、6月、12月に実施した。申請者数は11,967名、前年比94.7%と減少した。登録査定士は2023年度末現在133,019名となり、前年と比べ269名減少した。

販売店、信販会社等からの依頼により当協会職員が行う査定については、33,354台で前年比109.8%と増加した。また、消費者・ユーザーから依頼され、修復歴の有無について確認する車両状態確認証明事業は、3,523台で前年比95.9%と減少した。

オークション出品車両の事前検査事業の検査台数は35,032台で、前年同期比104.0%と増加した。

また、商品中古車の確認証明申請台数は204,786台で、前年比113.6%と増加した。

中古車輸出検査事業については、モーリシャス、スリランカなどを中心に、3,814台で、前年比152.6%となった。当事業は、仕向け国内の政治的事由に大きく影響を受け輸出台数が極端に増減を繰り返しているが、今年度は、新型コロナウイルスの感染が落ち着きを見せ検査台数が増加した。

このような中、協会の主要業務に成長した車両状態証明事業（V-CON）の検査台数は131,596台で、前年比103.6%と増加した。

査定総合支援システム「カーチェックス」については、自動車乗用メーカーの内7社がほぼ全国で導入展開しており、自社の基幹システムとも6社が連動を果たしている。

さらなる利便性向上のため、DX化や次世代システムとして新機能の取り込み等を各メーカーに提案し導入促進に努めた。

また、当協会が運営する流通相場（オートオークション、小売）検索サイトである「e-JAN」については利用者の利便性のために新機能追加等を図った。

当協会が発行する中古車グレード判断に関連する参考書としての査定ガイド、価格情報誌であるイエローブック、シルバークック等の各種ガイドブックは、自動車販売関連企業の統廃合、社員の減少、経費の節減、査定システムの普及等から販売環境は厳しく、販売部数は減少している。また、査定ガイドの電子メディア「JAAI-Net」を通じて我が国で販売されている全ての自動車に関する型式・装備内容等の情報を提供しているが、2023年度においても、迅速な情報の提供と内容の充実及び利用者の利便性向上に努めた。

2023年度の当協会事業については、厳しい経済環境等の中であったが、各種事業を積極的に推進し、事業の合理化、経費節減等に努めたこともあり、非収益事業及び収益事業共に黒字の決算となった。

# 主要事業内容

## 1. 査定制度の普及、定着を目指す事業の推進

### (1) 中古自動車査定士技能検定試験の年2回実施

自動車市場の成熟化とともに自動車業界における査定制度の重要性がますます高まる中、当協会では技能検定試験受験申請者の受験機会拡大の観点から、1996年度以降、技能検定試験を毎年2回実施し、申請者の利便性向上に努めてきた。

今年度においても6月に前期、12月に後期と年2回の技能検定試験を実施した。

また、昨年と同様に検定講習のスタイルである対面講習を一部eラーニングに切り替え利便性向上に努めた。

前期並びに後期の技能検定結果は、下表の通りであった。

	小型車			大型車	合計	前年	対前年比
	前期	後期	計	前期のみ			
申請者数	5,669名	6,054名	11,723名	244名	11,967名	12,636名	94.7%
(内学生)	(1,315)	(1,047)	(2,362)	(—)	(2,362)	(2,529)	93.4
受験者数	5,317	5,684	11,001	238	11,239	11,835	95.0
(内学生)	(1,186)	(1,000)	(2,186)	(—)	(2,186)	(2,352)	92.9
合格者数	4,164	4,401	8,565	223	8,788	8,935	98.4
(内学生)	(858)	(728)	(1,586)	(—)	(1,586)	(1,748)	90.7
合格率	78.3%	77.4%	77.9%	93.7%	—	—	—

今年度の受験申請者総数は11,967名となり、前年の12,636名を669名下回った。

小型車の通年合格率は77.9%となり、昨年の75.2%を2.7%上回る結果となった。2023年度末現在の登録査定士は133,019名で前年度から269名減少した。

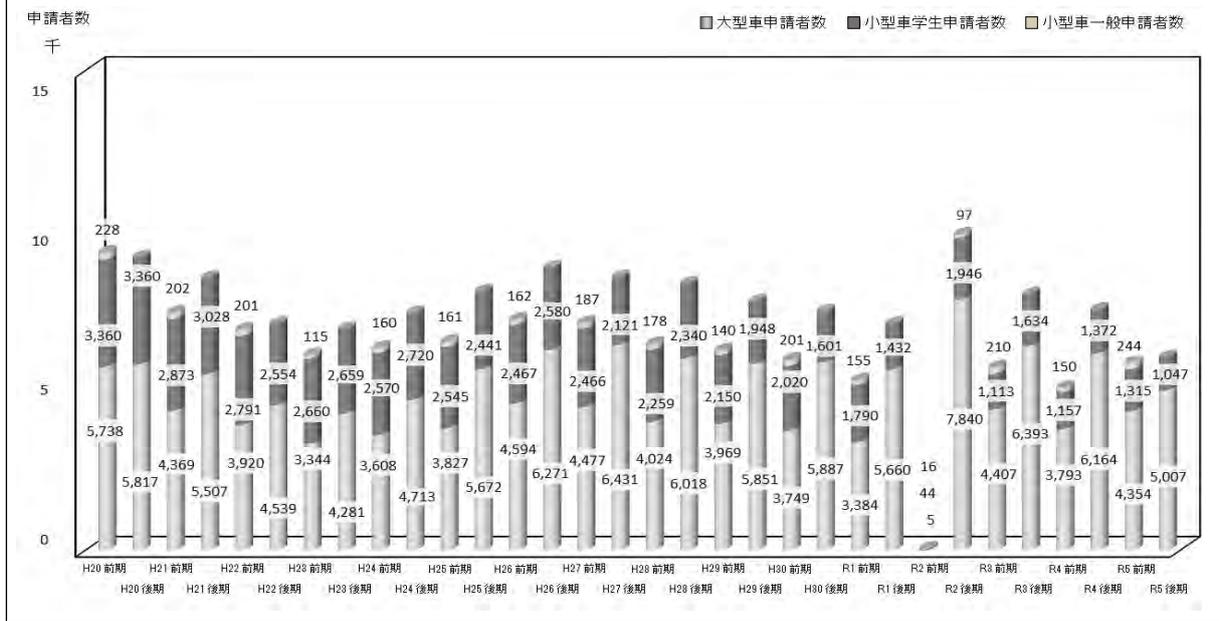
また、査定業務実施店数は7,851社で前年度から31社増加した。

### (2) 中古車市場環境に対応した査定基準の見直し及び円滑な定着・促進

小型車加減点基準について、現状のオプション装備品や修理費等の見直しを行っている。「修復歴の計算式」については、2023年の流通データを基に、外部機関を通じて流通市場との乖離がないか検証を2024年度に行うこととした。

また、中古自動車査定制度の見直しを行い、合格後、合格証書にある年月日を3年過ぎても登録を行ったことのない者は支所研修又はeラーニングを受講「検定試験合格後長期末登録者の初度登録講習の必須化」の運用を2024年度より開始した。

### 技能検定申請者推移



### (3) 査定総合支援システム「カーチェック」の活用及び普及

査定総合支援システム「カーチェック」は、リリースして13年目を迎えるが現在、自動車乗用メーカー7社がメーカー主導でほぼ全国の販売店で導入し、その内6社が基幹システム連動を果たしている。今年度も販売店や自動車メーカーの意見をシステムに反映しアップグレードに努め導入販売店は増加した。

また、「カーチェック」を軸とした自動車メーカーのシステム構築にも積極的に提案し、協力を行った。今後も現場の意見を聞きながら使用者の利便性を向上させるために開発を続けていく。

### (4) 適正査定のための査定士に対する研修及び講習の充実

中古自動車査定士証の有効期間は3年と定められており、査定士証更新のための研修受講は資格登録を維持する条件となっている。義務付け研修会(対面方式)は、今年度は全国各支所で128回実施され、eラーニングを含む33,016名が受講した。この中には実車を用いての研修会が20回含まれており、203名が受講した。さらに、「修復歴の判断基準」の教材を使用して、査定士証更新時の義務付け研修と併せて「特別講習」を実施した。

義務付け研修会以外に各支所単位では、支所が主催する研修会や販売店からの依頼による任意研修会を実施しており、その回数及び受講者は863回、8,816名となっている。最近では、基本的な「車両の点検手順」あるいは「車両状態の表記方法」についての研修に加えて、「修復歴車の確実な判断力の習得」のニーズが増加し

ており、開催した研修会のうち693回が実車を用いた研修となっている。

(5) 業界が実施する中古自動車査定士技能コンテストへの積極的協力

査定士の技能向上を目的として各メーカー及び各販売店が実施する「査定士技能コンテスト」に積極的に支援を行なった。

(6) 査定士のための各種研修用教材の開発

2023年度は、2025年度より使用する査定士研修用ノート17を作成した。  
2024年度は、2023年度に作成し査定士研修用ノート17の講師用解説書、eラーニング及び特別用教材を作成する。

(7) 一般消費者への査定制度等のPR

当協会の業務内容については、ホームページの充実を図り広報する他、一般消費者に広く査定協会を広報するためPRに努めた。

(8) 中古自動車査定士技能コンテスト全国大会の開催

新型コロナウイルスの感染拡大のため、5年ぶりに品川プリンスホテルにおいて開催した。各支所の予選により選抜された52名を6班に分け、カーチェックスを利用した実車査定2台と机上査定及び学科試験を競技し、総合点数を審査した結果、ホンダ四輪販売三重北の長坂大地選手が最優秀査定士賞を受賞し、経済産業大臣賞並びに国土交通大臣賞と自販連会長賞が授与された。

また、優秀査定士賞5名と優良査定士賞10名を入賞として理事長より表彰した。

## 2. 中古車関連情報の適切迅速な提供

(1) 中古車価格ガイドブック「イエローブック」と「シルバーブック」の迅速な発行及び情報内容の充実並びに購読者減に対応した発刊方法の改善

2023年度は、半導体不足等による部品供給不足が徐々に解消され、各メーカーでの新車供給が増え、中古車流通量も増加した。中古車市場では全体的には高値の相場となっているものの、車種によっては昨年度より大きく下落したものもあった。こうした市場実態の中、ガイドブック作成にあたり各自動車メーカー及び販売会社と情報交換を行い、さらに「中古車販売実績」「市場実態調査」「オークション情報」等幅広い情報を積極的に取り入れ、掲載価格が市場実勢と乖離することがないように努め、マーケットの状況を迅速にガイドブックの価格設定に反映した。

(2) 査定ガイド、JAAI-Net にて提供する情報内容の充実及び利用会員増加対策の強化

販売店の統廃合、インターネットによる価格情報の増加、査定システムの普及などにより、当協会が発行する中古車価格ガイドブックの販売部数の減少傾向が続いている。特に査定ガイドについては、各メーカーが車台番号によるグレード検索サービスを Web 上で行っていることから、型式指定、類別区分によるグレード検索はニーズが無くなってきており、ユーザーの利用状況を調査し今後の方針を検討した。

査定ガイドの Web 版でもある JAAI-Net の掲載内容も含め 2024 年度も引き続き検討していく。

拡販策としては、中古車価格ガイドブック「シルバースタック」と「イエローブック」を新規査定業務実施店に 3 ヶ月間無償配布した。

(3) オークション価格サイト、e-JAN のデータ提供 AA 会場数を拡充して内容充実をはかり会員数の増加対策強化

e-JAN (Electronic JAAI Auto Net) は、現在の流通相場価格の物差しになっている AA 価格を収集し小売価格と共に掲載している。

会員及び各自動車メーカー、販売店の更なる利便性のために出品車画像など情報量の増加並びにインボイス制度に対応した新機能を追加した。

(4) 各種ガイドブックについて、Web ブックでの作成、配信検討

現在、JAAI-Net に「Web シルバー」「Web イエロー」として掲載している。

将来性を検討した結果、冊子版を縮小しデジタル配信の強化を検討することとした。

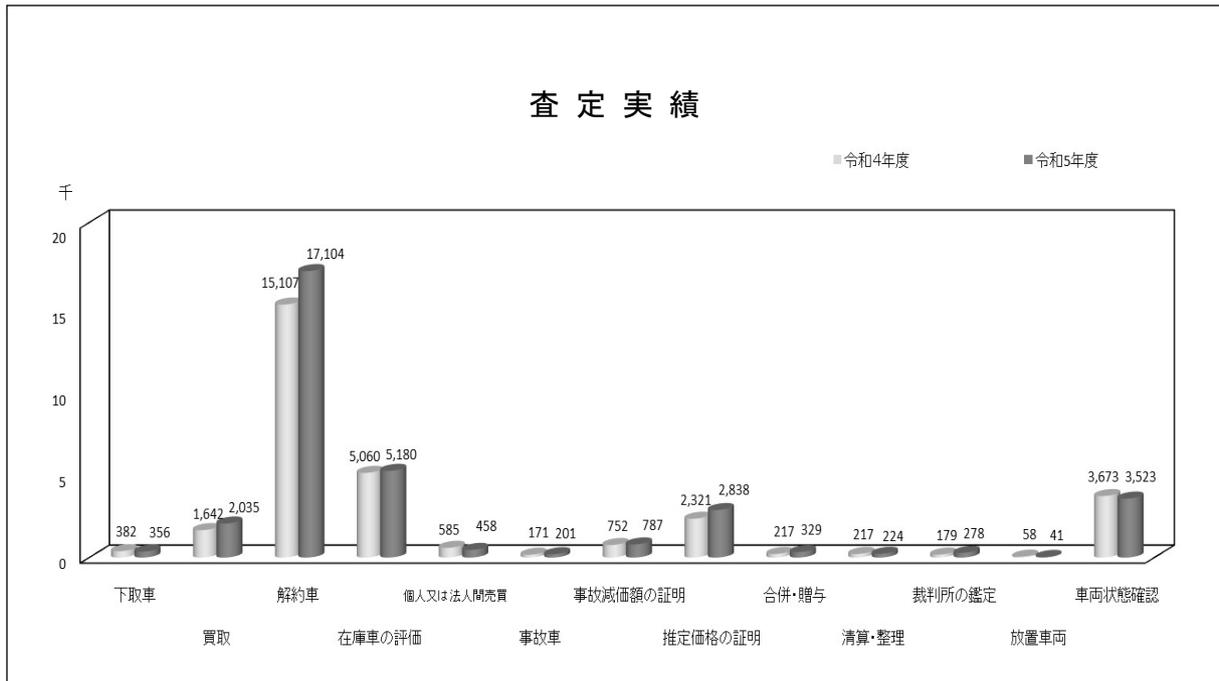
### 3. 査定協会職員による査定及び検査証明業務の適正な実施

(1) 依頼査定業務の適正な実施

今年度の査定実績は、33,354 台となり、前年比 109.8%となった。

依頼目的別の集計では、「下取車」は 356 台で前年比 93.2%、「買取」については 2,035 台で前年比 123.9%であった。

依頼先区分別に見ると、「販売店」からの査定依頼が 7,890 台で前年比 111.6%、専門店は前年比 111.0%、一般ユーザーは前年比 109.5%となった。



## (2) 車両状態証明事業（V-CON）の積極的な実施

中古車の販売時に車両の状態を見やすく記載して、販売店が購入者に説明できる証明書の発行業務を実施している。今年度の検査台数では131,596台（前年比103.6%）となった。また、認定検査員制度は、販売店における検査の内製化を促進できることから、積極的に検査員の育成協力を行い、認定検査員試験において34名が合格した。

## (3) 商品中古自動車確認証明業務の適正な実施

1986年度から実施している当業務は、販売事業者の経費節減の観点から自動車販売事業者に浸透しており、今年度は204,786台（前年比113.6%）の申請であった。なお、全国の自動車販売店に還付された商品中古自動車の自動車税種別割の減免金額は、約18億1千百万円となっている。

## (4) 中古車輸出検査事業の海外へのPRと信頼される検査の実施

今年度の輸出検査台数は3,814台（前年比152.6%）であった。その内、モータリシヤスの検査台数は3,632台（前年比153.1%）バングラデシュ82台（前年比75.2%）スリランカ92台となった。

#### (5) オークション出品車両の厳正な検査の実施

当協会では、オークション会場等から出品車両あるいは展示車両の検査業務を依頼されており、厳正な姿勢で検査を実施している。今年度は、新車販売台数が新型コロナ禍前の状態に戻りつつある中、35,032台（前年比104.0%）の検査を実施した。

#### (6) 各支所への査定情報の提供

最近の査定先は、信販系、リース系等全国展開しているところが多く、そうした依頼者の査定にあたっては、各支所が統一された情報により査定することが必要とされる。そのため、支所間における査定評価額に大きな差が出ないようにカーチェック、証明書発行システム等、情報共有するシステムの充実を図った。また、修復歴の統一した判断ができるよう、本部、支所間での情報共有を行った。

### 4. その他

#### (1) 新型コロナウイルスの感染拡大や災害などに対応するために Web 会議などデジタル化、リモート化の充実

諸会議の開催を移動と集合を控え、一部会議はオンラインで開催した。

#### (2) 協会本部・支所間情報ネットワークの充実、情報の共有

クラウド型グループウェアのテスト導入を行い、本部支所間の効率化をより図るべく準備を進めた。

また、ポータルサイトを活用し、資料や議事録の共有を積極的に行った。

#### (3) 協会職員の人材教育（査定・検査職員研修、経理担当者研修等）

##### （査定職員研修）

##### ① 全国査定長会議の開催

2024年1月24日、25日に全国査定長会議を開催した。主たる内容は、各分科会からの活動報告、本部からの連絡及び本田技研工業株式会社より最新のハイブリッドシステム（e:HEV）やASVなどについて講義を受講した。

##### ② 経理担当者研修会の開催

2024年2月8日に全国経理担当者研修会を開催した。主たる内容は、決算・予算作成要領についての説明、及びインボイス制度、電帳法、定額減税の説明を行った。

(4) 諸会議の効率的な開催

諸会議の開催を効率的・効果的に進め、経費及び時間の節減に努めた。

(5) 業務の効率的な実施による諸経費の削減

業務全般に亘って効率的な遂行を目指し、経費及び時間の節減に努めた。

(6) 自動車関係団体との緊密な連携と情報交換の実施

関係諸官庁並びに関係団体との連携を密にして、指導と協力を仰ぎ、情報の交換、資料の収集、社会経済情勢の把握に努め、事業の円滑な推進を図った。

(7) 個人情報保護法等法令遵守への取り組み

2005年より当協会は個人情報保護法に対応するため、「基本方針」、「保護規程」、「情報セキュリティ実施要領」を定めているが、今年度も査定士技能検定試験、査定士管理、個別査定等の業務ごとに厳正に取り組むよう努めた。

## 第58期に開催した主な会議、講習会等

### A. 理事会

第187回理事会（2023年6月7日）

於「イイノホール&カンファレンスセンター」

#### 議 題

- (1) 2022年度(第57期) 事業報告書(案) の承認について
- (2) 2022年度(第57期) 計算書類等(案) の承認について
- (3) 事業報告書(案)・計算書類等(案) について監事からの監査報告及び承認について
- (4) 第147回定時評議員会の開催について
- (5) 理事の推薦、及び第147回評議員会への提案について
- (6) その他 評議員候補の紹介

第188回理事会（2024年3月29日）

於「イイノホール&カンファレンスセンター」

#### 議 題

- (1) 2024年度(第59期) 事業計画書(案) の承認について
- (2) 2024年度(第59期) 収支予算書(案) の承認について
- (3) 第189回理事会の開催(案) について
- (4) 第148回定時評議員会の開催(案) について
- (5) 第190回理事会の開催(案) について

### B. 評議員会

第147回評議員会（2023年6月26日）

於「イイノホール&カンファレンスセンター」

#### 議 題

- (1) 2022年度(第57期) 事業報告書の理事会承認報告について
- (2) 2022年度(第57期) 計算書類等(案) の承認について
- (3) 事業報告書・計算書類等(案) について監事からの監査報告、及び承認について
- (4) 評議員の交代に伴う後任評議員の選任について
- (5) 理事交代に伴う後任理事及び新任理事の選任について

### C. 技能検定専門委員会

第154回技能検定専門委員会（2023年5月15日）

議 題

- (1) 第75回中古自動車査定士技能検定の試験問題について
- (2) その他

第155回技能検定専門委員会（2023年7月10日）

議 題

- (1) 第75回中古自動車査定士技能検定試験の合否について
- (2) その他

第156回技能検定専門委員会（2023年10月31日）

議 題

- (1) 第76回中古自動車査定士技能検定の試験問題について
- (2) その他

第157回技能検定専門委員会（2024年1月15日）

議 題

- (1) 第76回中古自動車査定士技能検定試験の合否について
- (2) その他

### D. 査定基準価格専門委員会

第626回	2023年 4月 21日	於「東郷記念館」
第627回	2023年 5月 19日	於「東郷記念館」
第628回	2023年 6月 16日	於「東郷記念館」
第629回	2023年 7月 14日	於「東郷記念館」
第630回	2023年 9月 15日	於「東郷記念館」
第631回	2023年10月 20日	於「東郷記念館」
第632回	2023年11月 17日	於「東郷記念館」
第633回	2023年12月 15日	於「東郷記念館」
第634回	2024年 1月 19日	於「東郷記念館」
第635回	2024年 2月 16日	於「東郷記念館」
第636回	2024年 3月 15日	於「東郷記念館」

## E. 輸出検査特別委員会

開催実績なし

## F. 査定士技能検定試験

第75回	2023年 6月18日	小型	受験者数	5,317名
	2023年 6月14日	大型	受験者数	238名
第76回	2023年12月13日	小型	受験者数	5,684名

## G. 全国支所長会議

2023年6月8日 於「イイノホール&カンファレンスセンター」  
議 題

- (1) 2022年度(第57期) 事業報告について
- (2) 2022年度(第57期) 計算書類等について

2024年2月29日 於「イイノホール&カンファレンスセンター」  
議 題

- (1) 2024年度(第59期) 事業計画(案) について
- (2) 2024年度(第59期) 予算の考え方について

## H. 運営企画委員会

第293回運営企画委員会 (2023年6月7日)

於「イイノホール&カンファレンスセンター」

議 題

- (1) 2022年度(第57期) 事業報告書(案) について
- (2) 2022年度(第57期) 計算書類等(案) について
- (3) 2024年度中古自動車査定士技能検定試験実施日程について

第294回運営企画委員会 (2023年12月1日)

於「ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留」

議 題

- (1) 2024年度(第59期) 事業計画(案) 及び予算編成の考え方(案)
- (2) 各分科会の審議状況・予定について

第295回運営企画委員会（2024年3月29日）

於「イイノホール&カンファレンスセンター」

議 題

- (1) 2024年度(第59期) 事業計画(案) 及び収支予算書(案) について
- (2) 2024年度(第59期) 各分科会の進め方について

#### I. 全国査定長会議

2024年1月24日～25日

於「東京ベイ 有明ワシントンホテル」

議 題

- (1) 各課及び各分科会からの報告
- (2) 講義 本田技研工業（株）歴史・ハイブリッド・EVについて

#### J. 運営企画部会

2023年 6月 7日

於「イイノホール&カンファレンスセンター」

2023年12月 1日

於「ザ ロイヤルパークホテル アイコニック 東京汐留」

2024年 3月29日

於「イイノホール&カンファレンスセンター」

#### K. 査定実務分科会

2023年 4月11日～12日

(第1回)

於「本部会議室」

2023年 6月27日～28日

(第2回)

於「本部会議室」

2023年 8月29日～30日

(第3回)

於「本部会議室」

2023年 9月26日～27日

(第4回)

於「本部会議室」

2023年11月 6日～ 7日

(第5回)

於「本部会議室」

2024年 1月16日～17日

(第6回)

於「本部会議室」

2024年 2月20日～21日

(第7回)

於「福 岡」

#### L. 教材分科会

2023年 4月25日～26日

(第1回)

於「本部会議室」

2023年 7月12日～13日

(第2回)

於「本部会議室」

2023年 8月22日～23日

(第3回)

於「本部会議室」

2023年 9月28日～29日

(第4回)

於「本部会議室」

2023年11月21日～22日

(第5回)

於「本部会議室」

2023年12月25日～26日

(第6回)

於「本部会議室」

2024年 2月14日～15日

(第7回)

於「本部会議室」

#### M. 査定基準価格分科会

2023年 4月 3日～ 4日	(第1回)	於「本部会議室」
2023年 6月 1日	(第2回)	「Web会議」
2023年 7月 3日～ 4日	(第3回)	於「本部会議室」
2023年 8月 1日	(第4回)	「Web会議」
2023年 9月 1日～ 2日	(第5回)	於「大阪支所会議室」
2023年10月 2日～ 3日	(第6回)	於「本部会議室」
2023年11月 1日～ 2日	(第7回)	於「本部会議室」
2023年11月30日～12月 1日	(第8回)	於「本部会議室」
2024年 2月 1日	(第9回)	「Web会議」
2024年 3月 1日	(第10回)	「Web会議」

#### N. 輸出検査実務分科会

開催実績なし

#### O. V-C O N推進分科会

2023年 5月 8日～ 9日	(第1回)	於「本部会議室」
2023年 6月29日～30日	(第2回)	於「大 分」
2023年 8月 2日～ 3日	(第3回)	於「本部会議室」
2023年 9月12日～13日	(第4回)	於「本部会議室」
2023年12月14日～15日	(第5回)	於「本部会議室」
2024年 3月 6日～ 7日	(第6回)	於「本部会議室」

#### P. システム分科会

2023年12月18日～19日	(第1回)	於「本部会議室」
2024年 3月25日～26日	(第2回)	於「本部会議室」

#### Q. 職員の研修会

##### (1) 全国経理担当者研修会

2024年 2月 8日 於「東京グランドホテル」

##### (2) V-C O N本部研修・資格試験

2023年 9月14日 「Web開催」

2023年12月 6日 「Web開催」

2024年 3月15日 於「本部会議室」

## R. コンテスト全国大会関連

運営企画部会

(第10回中古自動車査定士技能コンテスト全国大会正副委員長会議拡大開催)

2023年 6月 7日

於「イイノホール&カンファレンスセンター」

第10回中古自動車査定士技能コンテスト全国大会

2023年 7月 21日

於「品川プリンスホテル」

審査委員会 7月18日～21日

運営・実行合同委員会 7月20日

選手説明会 7月20日

## S. その他

第58期に作成した主な出版物

「査定ガイド」(2023年版)